

第25回応用薬理シンポジウム開催のご案内

テーマ：100歳を超える健康設計への挑戦-応用薬理による薬物治療と健康食品からのアプローチ-
大会長：佐藤光利（明治薬科大学医薬品安全性学研究室教授）
会期：令和6年9月15日（日）～16日（月・祝）
会場：明治薬科大学 フロネシス 〒204-8588 東京都清瀬市野塩二丁目522番1
主催：応用薬理研究会
共催：明治薬科大学
協賛：日本薬理学会、日本薬学会
後援：東京都病院薬剤師会、日本薬剤師会、東京都薬剤師会、練馬区薬剤師会、西武薬剤師会、所沢市薬剤師会、千葉県薬剤師会

【プログラム】

第25回大会記念講演：健康長寿社会へ「応用薬理」からのメッセージ
大泉 康（応用薬理研究会 理事長）
教育講演：我々の食と健康を支えるキノコの神秘
江口文陽（東京農業大学 理事長/学長）
特別講演：再生医療の現状と今後の臨床応用への準備と展開（仮）
佐藤陽治（国立医薬品食品衛生研究所 再生・細胞医療製品部 部長）
シンポジウム1：健康な腸内フローラの維持-腸脳相関の重要性-
シンポジウム2：中高年女性の健康設計のためのセルフヘルスケア-エビデンスに基づく健康食品からのアプローチ-
シンポジウム3：膜輸送体に着目した循環器疾患治療の最前線
シンポジウム4：いつまでも健やかな毎日のために：眼疾患の克服を目指して
シンポジウム5：基礎および臨床研究における化学構造を活用した毒性・副作用研究の新展開

【事前参加申込及び一般演題・要旨申込】

※事前参加登録締切：2024年9月3日（火）
申込方法：ホームページよりお申し込み下さい（当日受付あり）

<https://ooyo25th.memen-to.org/>

参加費：事前登録 一般会員；6,000円、非会員；8,000円、学生；無料
当日登録 一般会員；8,000円、非会員；10,000円、学生；無料

懇親会費：一般（会員・非会員）、学生とも5,000円

※演題・要旨（ポスター）登録締切：2024年5月7日（火）

抄録掲載料：3,000円

ポスター発表：演題を募集（ポスター賞あり）



【大会事務局】

第25回応用薬理シンポジウム 事務局
明治薬科大学 薬学部 医薬品安全性学研究室 〒204-8588 東京都清瀬市野塩二丁目522番1
Tel & FAX：042-495-8949、Mail：satoh@my-pharm.ac.jp

【運営事務局】

株式会社Memento 〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目22番11号 銀座大竹ビジネス2階
FAX：03-4563-9749、Mail：ooyo25th@memen-to.jp

ご挨拶

「第25回応用薬理シンポジウム」開催にあたって

この度、「第25回応用薬理シンポジウム」を2024年9月15日(日)～16日(月・祝)の2日間、東京都清瀬市 明治薬科大学 フロネシス において開催させて頂く運びとなりました。

今回の「第25回応用薬理シンポジウム」では『100歳を超える健康設計への挑戦 -応用薬理による薬物治療と健康食品からのアプローチ-』をテーマといたしました。日本は世界に類を見ない長寿国となり、これからはいかに健康に長寿を生きるかが重要になっています。疾病の治療では、有効性が高い薬物を用いた薬物治療などの積極的な治療が重要になる一方で、発症していない状況では、疾病の予防や健康管理が重要になります。これまで、応用薬理研究会は、新薬の創製や健康食品の開発に大きく貢献してきました。今回の応用薬理シンポジウムでは、25回の節目として大泉康理事長に第25回大会記念講演をお願いしております。また、教育講演では、東京農業大学 江口文陽理事長/学長に「我々の食と健康を支えるキノコの神秘」のご講演、特別講演では、国立医薬品食品衛生研究所再生・細胞医療製品部 佐藤陽治 部長に細胞組織製品を用いた再生医療のこれらについてご講演頂く予定です。

さらにシンポジウムやランチョンセミナーを準備しています。一般演題は、ポスター発表を行ない、エントリーされたものの中から優秀ポスター賞を選出しますので、多くの方のエントリーをお待ちしております。一般演題の登録締切は2024年5月7日(火)を予定していますので、期日までにご登録をお願い致します。

新型コロナウイルスパンデミック前のように、皆様と会場でお会いできることを楽しみにしております。是非、「第25回応用薬理シンポジウム」に奮ってご参加くださいます様、宜しくお願い申し上げます。

第25回応用薬理シンポジウム

大会長 佐藤 光利

明治薬科大学医薬品安全性学研究室 教授

会場へのアクセス

